

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	法学A		
英文授業科目名	Jurisprudence A		
開講年度	2004年度	開講年次	1, 2年次
開講学期	2, 4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-人文・社会科学科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奈良 武		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
1 法の基本を学ぶ 2 日常生活でかかわる主要な法律の概要を学ぶ 3 前半では、民法、商法、倒産法、労働法、刑法、裁判をアラカルト風に学ぶ 後半では、憲法を学ぶ

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：指定しない 参考書：「法学入門」遠藤浩・久保田きぬ子編（有斐閣新書 900円） 「法学入門」末川博編（有斐閣双書 1400円） 「現代法学入門」伊藤正己・加藤一郎編（有斐閣双書 1200円）

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

講義予定

第1回：法とは何か 第2回：財産と法 第3回：家族と法 第4回：企業と法

第5回：企業倒産と法 第6回：労働と法 第7回：犯罪と法 第8回：裁判と法

第9回：憲法とは何か 第10回：国民主権と基本的人権 第11回：自由権と社会権

第12回：国会と内閣 第13回：裁判所 第14回：国際関係と法 第15回：まとめ

授業の進め方：毎回の冒頭に講義レジメ（OHP加工前の状態）・参考資料を配布する

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法： 中間試験なし・期末論文試験のみ

評価基準： 講義内容を正しく理解できたか（理解度）、講義内容を自分の日ごろの生活との関連で考えているか（具体的な問題認識）、自分なりの視点を持つことができたか（法的素養の涵養）の3点について考査する。したがって、配布資料の転記のみでは不可とする。講義終了後の自分なりの復習が重要。

【オフィスアワー：授業相談】

講義終了後の休み期間を利用すること。

【学生へのメッセージ】

各人の立場によってかわる法律は異なるが、社会生活を送るにあって法律と無縁で過ごせることはない。法律事件に遭遇してからあわてても、手遅れの場合もある。日ごろから法律に慣れ親しんでおくことが大切。もっとも基本的な法律を紹介し、日常生活と法律がどのように関係しているか理解を深められるように講義を進める。難しい法理論の紹介を避け、法律アレルギーを解くことを狙う。

【その他】